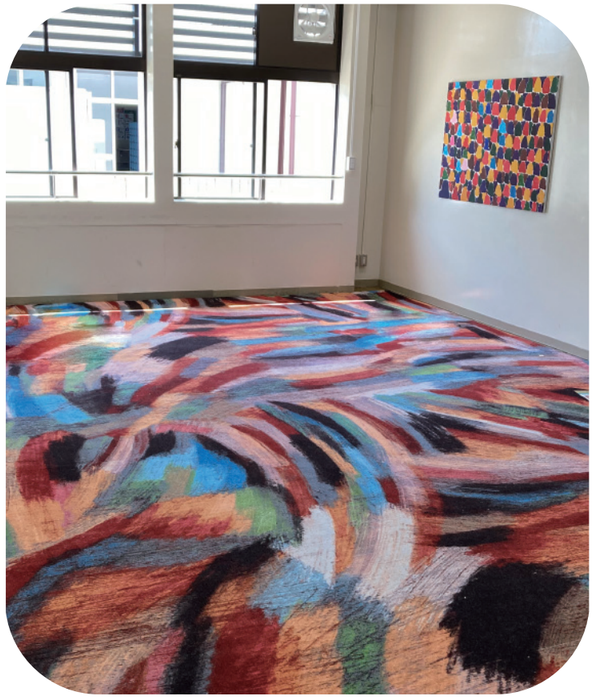
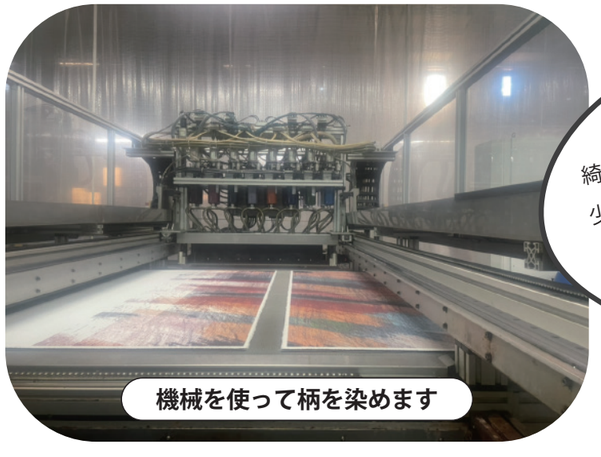
長谷虎紡績株式会社　アートカーペットが出来るまでの流れ



アートを再現するために使用色を検討します

染液を作成します



機械を使って柄を染めます

施工して完成です！！

繊細なタッチをカーペットで
表現するにはどうしたらいいんだろう…と
仕様についても検討を重ねました！
営業部：小林

①打ち合わせ

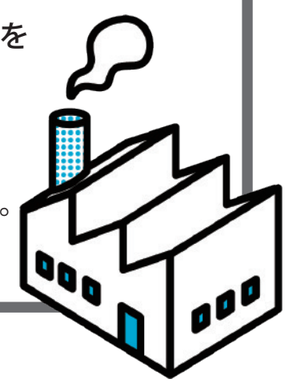
ヘラルボニーさんと打ち合わせを重ね
マットのサイズや、加工の方法など
仕様について話し合い、商品について
検討したり、試作品の評価
頂いたりします。

原画のデータを見させて
いただき、表現の１つ１つが
生きているなぁと実感しました。
デザインの再現にも力が入りました！
デザイン室：坂井

②デザイン処理

原画を忠実に再現させる為、
ペンの掠れや滲みまでも表現しています。
またカラフルな多色使いのアートを
染色機最大の１２色で表現するため
ポイントとなる色を抽出し検討し
再現しています。

綺麗な色を使われたアートなので
少しでも色が再現できるようにと
がんばりました！！
工場：森嵜

③工場にてマット作成

いよいよ工場にてマットを
作成。染液を作成して
実際にカーペットに
プリントをしていきます。